

中長期ビジョン「2030 ビジョン」の2024年度進捗状況報告について

2024年度に改定した中長期ビジョン「2030 ビジョン」の進捗につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 熱の低・脱炭素化

① エネルギー効率 20%以上の向上(2013 年度比) ⇒ 16%の効率向上(達成率 80%)

- ・高効率機器の導入

インバータターボ冷凍機の導入による同機4台体制の整備完了

蓄熱ターボ冷凍機の更新

- ・最適運転システムの導入

[AIによる熱負荷予測機能の製作\(2025年6月竣工\)とこれに基づく最適運転システムの仕様検討開始](#)

- ・[エネルギー管理優良事業者等関東経済産業局長表彰を受賞](#)

② 脱炭素熱の普及拡大(中央地区「脱炭素先行地域」参画事業者への100%販売)

⇒ 50%の参画事業者に脱炭素熱販売(達成率 50%)

- ・[脱炭素熱早期導入希望のお客様へ「カーボン・オフセットサービス」を提供](#)

- ・[2025年度より、CO2排出量ゼロの熱を供給する「環境価値付熱料金メニュー」を提供](#)

③ CO2 排出原単位の半減(2013 年度比) ⇒ 20%の削減(達成率 40%)

- ・1-①と同内容

④ 水素の活用検討、イノベーション推進

- ・横浜市・関係事業者と連携して、今後の水素需要、供給方法、コスト、安全上の課題等について検討

- ・CO2回収に取り組んでいる関係事業者とともに、回収能力の向上、設置スペース、コスト、回収したCO2の活用等について検討

⑤ その他

- ・再生可能エネルギーの導入

[横浜市内の雨水調整池に太陽光発電設備\(108kW\)設置](#)

[センタープラントアプローチに路面太陽光設備\(3.75kW\)設置](#)

- ・神奈川経済同友会が主催する「第20回神奈川産学チャレンジプログラム」に参加し、大学生とともに「みなとみらい21地区における脱炭素機運の盛り上げ」にチャレンジ

2. 熱の供給継続・早期復旧

① 大規模停電時に病院等の特定需要家に対して72時間の供給継続

- ・災害対策用吸収冷凍機の新設により、2019年より開始したBCP対応工事(ライフライン、発電機、オイルタンク、受変電設備、吸収冷凍機、ボイラー)が完成
- ・センタープラント建屋の耐震性強化工事(官庁Ⅱ類→官庁Ⅰ類)の第4期までが完了(全10期)
- ・停電下におけるBCP訓練の実施
- ・横浜市・YMMと連携して、街のBCP強化の観点から優先供給先整理

② 大規模停電が72時間以内に復電した場合、3時間以内に供給再開

- ・早期供給再開と蒸気の安全復旧を目的とした供給事故発生時の対応フロー見直し及びお客様への説明
- ・大地震を想定した防災対策本部訓練、高圧ガス漏えいや火災発生を想定した訓練、防災備蓄品の強化
- ・[日本政策投資銀行の「DBJ BCM 格付」において最上位評価「防災及び事業継続への取り組みが特に優れている」を取得](#)

3. 熱の安定供給

① 内部起因による供給支障事故ゼロ ⇒ 事故ゼロの継続

- ・供給支障事故につながる諸トラブルの迅速な対応訓練、外部研修施設や設備メーカーによる研修などを計画的・継続的に実施
- ・[ボイラーの安全運転や省エネの積極的取組みが評価されボイラー管理優良事業場表彰を受賞](#)

② 原材料などの価格変動に対応した透明で公正な価格設定

- ・「カーボン・オフセットサービス」、「環境価値付熱料金メニュー」の開始にあたり、お客様の意思決定層に対しクレジットや証書の価格動向等について丁寧な説明を実施

4. 熱の最適利用

① お客様の熱の消費量の見える化

- ・[お客様の省エネ・コスト削減に貢献するため、熱の消費量がほぼリアルタイムで確認可能な「熱デマンドの見える化サービス」の開始\(2025年6月\)](#)

② 熱関連設備の受託サービス拡大など

- ・お客様のニーズや不具合事例を踏まえ、具体的な受託提案の実施
- ・お客様の熱利用特性等を踏まえた省エネ策の積極的な提案の実施
- ・お客様向けに、熱を安全にご使用いただくための連絡会やプラント見学会の開催

以上